

今は、子女責任分担時代

決心すれば応援する霊界もあれば、妨害するものもあるのです。信仰というものは目標を立てると、最初の三日間、三か月、三年をどう越えていくのか、その三つの峠があるといわれます。自分の責任分担がありますので、天が全て助けてくれるわけではないのです。

何が信仰の初愛かと言えば、み言に出会った感動、感激、喜び、決心がそうなのです。信仰の初愛を守っていく人においては、天が守って下さるのです。その初愛を捨ててしまえば、天が助ける道がなくなってしまう。信仰においてもそうですが、夫婦関係においても同じです。その関係が生きているならば、神が共にいることが出来るのです。

私たちは真の父母様に手を引かれて、生かされてきた立場であります。父母様の前では幼子であるのです。父母様は言われます。「一度でもみ旨に縛られたことがあるのか」と。意識はしていても、縛られているところまでいっていないのが私達です。ですから、父母様に手を引かれて歩んでいるというのです。

しかし今は変わりました。今までは間違った方向に進めば父母様によって正されていきましたが、これからは、自分が自分の責任で正しい道を行かなければならない時であるのです。自分がするべきなのです。父母様が見せて下さった伝統を基準にして自分自身の心の中で語っている事に従って行かなければならない時代が、今の時代です。これが子女の責任分担時代です。誰も干渉できないのです。自由な信仰である面、間違ったらとても危険なのです。

では、お父様は何を見せて下さったのでしょうか？横になって休まれることがありませんでした。そして一度信じたら最後まで信じられます。親が子供を信じているように疑いがありません。

前進するためには、信仰が1代で終わってはいけません。名門という言葉がありますが、名門とは我々の信仰が子供に受け継がれていくという事です。引き継がなければ名門とは言えません。名門は伝統が受け継がれているので発展するのです。

今年も最後の12月です。決意していることは最後まであきらめずに継続していく事、結果は天が主管するです。最後まであきらめずにベスト尽くして頑張りましょう。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

- 1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2. VISION2020 勝利の為の基台長及び区域長修練会

第7回:2013年12月19日(木)~12月24日(火)

第8回:~~2014年1月2日(木)~1月7日(火)~~中止になりました

第8回:2014年1月12日(日)~1月17日(金)

- 3. しあわせセミナー(毎週水曜日 10:30~)
田川敏講師による新規向けセミナーを毎週開催いたします。
- 4. 伝道三日路程
12月10日(火)~12日(木)
10日(火)9:00から浦和駅で情宣活動を行います。
- 5. クリスマス青年礼拝
日時:12月15日(日)15:00~
場所:浦和教会

- 6. 第4回天一国フェスティバル
日時:12月22日(日)12:30~
場所:浦和ロイヤルパインズホテル 4Fロイヤルクラウン
- 7. 健康講演会
日時:12月26日(木)10:30~
場所:浦和サロン
講師:本城典子先生

- 8. 基元節1周年記念「第3回フォトムービーコンテスト」
企画趣旨:
「天の父母様に捧げたい『瞬間』」を写真と音楽を用いたフォトムービーを通して表現し、基元節一周年に対する教会員の意識向上に努め、制作者が新時代の教会文化の担い手となるよう教育・育成することを目指す。また、信徒の家庭の愛の姿を教会内外に示し、教会や教会員の姿に対する認知を深める。

- 1. 募集期間
2013年12月10日~2014年1月31日
- 2. テーマ

「天の父母様に捧げたい『瞬間』」
家族と共に過ごす中で「感謝したとき」「愛を感じたとき」
「感動したとき」のような天の父母様に捧げたい『瞬間』を
写真や音楽、映像を用いて、4分以内で表現したもの。



【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代

天地人真の父母勝利解放完成時代



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

牧区長：李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail : uc.urawa@gmail.com

式次第



執礼者：李 炯燮教区長
司会者：田川 敏教育部長

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 聖歌 29番	全 体
※敬 拜	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈禱	奥平昌広
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	召命の人生	
※讃 頌 聖歌 49番	全 体
※祝 禱	執礼者
※全体祈禱	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

希望に満ちた明日が、召命を受けた者として「私」を呼んでいます。その召命された人が行く道は、運命によっていくのではなく、宿命的な道に従っていくのです。運命の道は変更させることができますが、宿命的な道が変わることはありません。

父子関係を変えることができますか。兄弟関係を変更させることができますか。できません。それは宿命的です。天運の道理と宿命に帰着して安着することを願う、そのような歴史が巡っているのです。その安着の基点が真の父母です。真の父母を中心とした真の子女の宿命的な関係を神様と結んでおいだったので、これは変更することが出来ないのです。

人間が、心と体で願う希望とは、創造主である神様が再び直接主管してくださる事です。今日の私達には、このような希望とみ旨を果たすべき使命があり、そのことを完遂するための召命を受けているのです。ですから、私たちは、神様の主管性を復帰してさしあげなければならず、それと共に、万物の主人としての主管性を復帰してさしあげなければなりません。そして、神様が主管してくださる恩賜に対して、感謝の栄光をお返ししなければなりません。このような責任は、万物にあるのでもなく、天の天軍天使にあるのでもなく、今日の私たちにあります。

～ 天聖經 第8編 信仰生活と修練

第4章 真の父母の人生から見た信仰者の道

第1節 召命の人生 ～

統一運動

フィリピン台風被害支援に天一国青年宣教師が参加

11月26日から28日までフィリピンのセブ島において、韓国・世界平和統一家庭連合主催で台風被害にあった被災者支援のためのボランティア活動が行われました。この活動には韓国と日本、フィリピンの指導者と青年など100人余りが参加し、フィリピンに滞在していた日本統一教会の天一国青年宣教師も参加しました。

ボランティアに参加したメンバーたちは、事前に食料(米、インスタントラーメン、缶詰など)、ローソク、蚊取り線香、寄付金で準備した支援物資を袋詰めし、現地に向かいました。被災地に到着したメンバーたちは、16,000世帯が台風の被害にあったボゴ市の市長と会い、活動内容について共有した後、被災地域での活動を開始しました。ボゴ市では500世帯に食料を配給し、避難所でも100世帯分の食料を手渡し、被災者と交流しました。

【参加した天一国青年宣教師の感想】

ボランティア活動では、主に食糧配給をやらせて頂きました。現地の方と交流する中で、生活がまだまだ厳しい状況であるにもかかわらず、私たちに対して笑顔で「ありがとう」と言ってくれ、話を聞いても何も文句も言わない姿を見て、本当に神様はフィリピンを愛しているのだと強く感じました。

